



## 小中一貫教育だより

平成27年8月31日 No.17  
(小中一貫教育推進だよりから 通算No.52)  
十日町市教育委員会学校教育課



## 思い・願いがつながる

小中一貫教育係 嘱託指導主事 樋口 孝 義

十日町市の小中一貫教育立ち上げの時期に各種協議会や準備に関わってきましたので、そのときの多くの方々の思いや願いを振り返ってみたいと思います。

市町村合併から数年経ち、ある程度市全体がまとまり始めた頃でした。極小規模の学校が幾つかあり、十日町市として今後の学区を見直す重要な時期でした。平成20年に十日町市学区検討委員会を設置し、数回に渡り検討を重ねました。その結果、学校の適正規模を考へて平成25年までに地域で検討していただきたい小学校、さらには平成30年までに検討していただきたい小学校を分けて提言がありました。検討委員会はそれぞれの地域住民からも入っていただいていたので、断腸の思いで提言された方々も多くいたのです。当時、私は事務局でしたので検討していただきたい地域に出向き、保護者や地域の方々から厳しい意見、ありがたい意見をいただいたことを今でも忘れません。

もう一つの提言は「新しい形態の学校」の導入です。旧市町村の中学校の中には全校生徒50人程度の学校もあります。地域活性を維持していくためには学校の存在は大変大きいものがあります。つまり、小中学校がその地域に存在することに大きな意味があるのです。一方、十日町市の学校教育は「学力の向上」「不登校児童生徒の減少」「特別支援教育の充実」が喫緊の課題としてあげられていました。これらの問題点を総合的に考えたとき、全国的に動き始めていた「小中一貫教育」を検討する必要があると考え、この提言が出てきたのです。

翌年から提言をいただいた「小中一貫教育」が本当に十日町市の子どもにとってよい方法なのか、情報を集める段階に入りました。一貫教育を実践している幾つかの学校から資料を取り寄せたり、全国サミット等に参加して生の声を聴いたりしながら、新たに設置された「十日町市における小中一貫教育の在り方検討委員会」を進めていきました。最終的に十日町市の小中一貫教育の見本になるかもしれないと考え、教育委員や検討委員会の皆さんと福島県の湖南小中学校へ行き、話を聞いたり子どもたちの活動を見たりして心が固まったのです。次の年「十日町市小中一貫教育基本計画策定委員会」を設置し、小中一貫教育を一つの手段とした十日町市にふさわしいやり方を検討し、今ある基本計画ができあがったのです。



あれから5年が経過しました。モデル中学校区の実施を経て、昨年度から全ての学校が本格実施となりました。私は今年から学校に訪問し、各中学校区の実施を具体的に見させてもらっています。各中学校区が着実に進めていることに感心しました。さらに8月7日の全員研修会での「代表校発表」「中学校区別グループ協議」では地域の子どもの実態をしっかりと把握し、建設的な意見を出し合いながら課題克服のための小中一貫教育を実践しようとしていることを嬉しく思いました。

これからさらに児童数が減少し統合を検討しなければならない学校が出てきます。どのような状況下にあっても「地域の子は地域で育てる」意識を大切にし、地域住民や保護者、そして教職員全員で思い・願いを出し合って小中一貫教育を推進していかなければなりません。検討会当時の小中一貫教育への思い・願いを引き継ぎ、つながりのある教育活動をお願いします。

# ■中学校区合同発表会兼教職員研修会実施（報告）

8月7日（金）平成27年度小中一貫教育中学校区合同発表会兼教職員研修会を市民会館・中央公民館の全館貸切で実施しました。小中学校教職員、保育園、高等学校関係者、教育委員等を合せ、260人を超える研修会となり、大きな成果を得たものと考えています。

全体会で代表中学校区（南中学校区、下条中学校区、水沢中学校区）の実践発表を行いました。

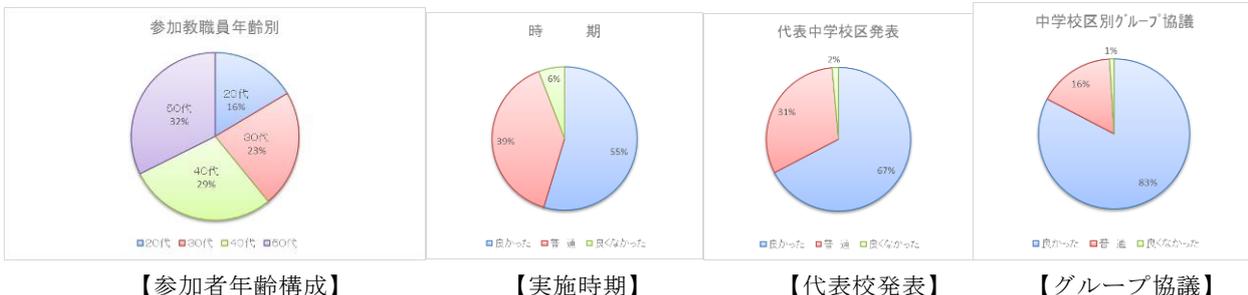


後半に9中学校区別（拡大中学校区、南中学校区、下条中学校区、吉田中学校区、水沢中学校区、川西中学校区、中里中学校区、松代中学校区、松之山中学校区）の分科会を設定しました。



◆3中学校区の発表内容については、スクールオフィスの学校間共通一中小一貫教育のフォルダーにアップしてありますので、ご覧ください。  
各中学校区の分科会の協議内容等についても、今後紹介していきたいと考えています。

また、研修会の全体に関わるアンケートの集計結果の概要は、下記のグラフの通りですが、



- (1) 実施時期については、良い(55%)、普通(39%)併せて肯定的評価が94%でした。大会、部活練習等と重なる、提出物で忙しいとの意見もありました。
- (2) 全体会については、良い(67%)普通(31%)合せて肯定的評価は98%でした。ポイントを絞った内容の発表が良かった、実践がどう子どもに作用したか、課題は何かを聞きたいという意見がありました。
- (3) 分科会については、良い(83%)普通(16%)で肯定的評価は99%。学校生活や不登校防止に関わる協議が良かった。時間を多くとり課題を絞って協議し深まったという意見がありました。今後の取組にどうつなげるかが大切です。

# 教育センターより

## 研修で授業の腕を磨きましょう

### ＊ ＊「～プロに学ぶ～授業力向上研修 Part2」＊ ＊

すばらしい授業を参観することで、あなたの授業の腕を磨きましょう。9月の研修は、「～プロに学ぶ～授業力向上研修 Part2」です。

#### 【～プロに学ぶ～授業力向上研修 Part2】

国語教育において全国的に著名な筑波大学附属小学校教諭；白石範紀先生による国語の示範授業と講演、研究協議です。

- 1 日 時 9月8日(火)13:50～16:30
- 2 会 場 十日町小学校
- 3 日 程 13:50～14:35 示範授業  
14:50～16:30 講演と研究協議



# 生徒指導だより

## 第2回特別支援教育研修公開講座の実施

第1回の講座では、「通常学級における特別支援教育(インクルーシブ教育システムに触れる)」、第2回の講座では、「発達障害児童生徒への対応(LD、ADHD、ASD)：幼児から高校まで」について、最新の研究の御紹介も取り入れながら、大変分かりやすく教えていただきました。

「情報収集は、日常生活における行動観察が重要、本人を直接見ることが大事である」、「問題行動や困難さへの対応を考える前に、発達障害のプラスの面を評価すること」、「問題が起きる前に活動の流れを提示し、因果関係、事実の確認を行い、パニックを起こさない事前の対応が大切である」など多くのことを学ばせていただきました。

参加者からは、「発達障害に関わる具体的な対応についてお話を聞けてとてもよかった。」「2学期から早速実践したい。」という声が多く聞かれました。

## ■小中一貫教育制度の導入に係る学校教育法等の一部を改正する法律について

上記の法律が、本年6月24日に公布され、平成28年4月1日から施行されることに伴い、改正法の概要及び留意事項について、添付の通り文科省から通知があった旨、8月10日付新潟県教育庁義務教育課長から連絡がありました。添付文書は学校に配付いたしましたので、一読ください。

なお、改正法は、関係資料と併せて文部科学省のホームページに掲載されていますので、ご参照ください。また、関係する省令及び政令の改正については、追ってこれを行い、別途通知する予定だそうです。

全文を載せることができませんが、根本的な「留意事項」を参考として載せます。

平成18年の教育基本法改正、平成19年の学校教育法改正により義務教育の目的・目標が定められたこと等に鑑み、小学校・中学校の連携の強化、義務教育の9年間を通じた系統性・連続性に配慮した取組が望まれている。

このたびの義務教育学校の創設については、これを踏まえつつ、地域の実情や児童生徒の実態など様々な要素を総合的に勘案し、設置者が主体的に判断できるよう、既存の小学校・中学校に加えて、義務教育を行う学校に係る制度上の選択肢を増やしたものである。また、今回の制度化は、小中一貫教育を通じた学校の努力による学力の向上や、生徒指導上の諸問題の解決に向けた取組、学校段階間の接続に関する優れた取組等の普及による公教育全体の水準向上に資するものと考えられる。

## ■トピックス 中学校区教職員研修「文学の体験」

中里中学校区では、8月6日（木）に中里支所を会場に地区の教職員研修を行いました。小楚裕二氏を講師にお迎えし、「文学の体験」をテーマにしてお話をお聞きし、たくさんの方を学びました。

### （1）目的及び内容

中里地区の小中学校では、昨年度に引き続き「学習意欲の向上」「学習スキルの定着」を重点として、各校から様々なアプローチから取組を進めています。また、日々の授業改善を目標にして実践しています。

その一環として、文学の授業において児童生徒が読解力を身に付け、「分かる、できる、楽しい」を感じることができる授業研修することを目的にこの研修を実施しました。

### （2）成果と課題

小説の読み方を

- ・読むこと 書かれていることへの理解。
- ・解釈すること 隠されていることを掘り出す。
- ・批評すること 書かれていないことについて考える。

に分類し、いずれの読みも児童生徒が喜びを実感することが大切であるということを学びました。

また、正岡子規の俳句や短歌を例に、作者の背景を読み解いて作品を解釈することの重要性を学ぶとともに、その面白さを味わうことができました。

今後は、文学の指導において、児童生徒が関わり合いながら主体的に主題等を見付け、生き方や考え方の型を学ぶ授業を目指していくことが必要であると分かりました。

（問い合わせ 田沢小学校 川尻優教頭）



## ■中学校区の取組紹介（8月～9月）

中学校区名	8月の取組	9月の取組予定
<b>拡大中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月17日（月）同和教育研修会 上越市白山会館現地研修</li> <li>■ 8月19日（水）拡大中学校区の日                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫スポーツ教室</li> <li>②小中リーダー研修会</li> <li>③第3回運営委員会</li> <li>④小中学校間教科等意見交流会</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">【小中リーダー研修】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 9月1日（火）～9月3日（木） 第4回小中あいさつ運動</li> <li>□ 9月9日（水）～9月15日（火） 「家庭学習」&amp;「元気生活123」 強調週間</li> <li>□ 9月29日（火）～10月1日（木） 第5回小中あいさつ運動 街頭に立ち挨拶運動を実施</li> </ul>
<b>南 中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月7日（金）午前中各活動班会議 " 学区教職員協議会研修会 (講演会；講師田口一浩氏)</li> <li>■ 8月7日（金）合同発表会で中学校区の取組発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 9月初旬 小中部活動交流</li> <li>□ 9月未定 小中一貫だよりNo.3発行</li> </ul>
<b>吉田中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月20日（木）吉田中学校区小中合同陸上練習</li> <li>■ 8月24日（月）吉田地区教職員同和教育研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 9月8日（火）小中合同クリーン作戦</li> <li>□ 9月8日（火）統括連絡会</li> <li>□ 9月17日（木）吉田中学校オープンスクール、部活体験</li> </ul>
<b>下条中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月7日（金）合同発表会で中学校区の取組発表</li> <li>■ 8月21日（金）統括コーディネーター連絡会 (次項に続く)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【地区教育講演会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 9月 2日（水）交流活動打合せ</li> <li>□ 9月 5日（土）中学校体育祭 小学生が開会式、競技種目に参加</li> <li>□ 9月16日（水）交流活動打合せ</li> <li>□ 9月17日（木）小中交流活動</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月24日(月) 下条地区教育講演会・懇談会 講師；上村栄市氏(前十日町高校長) 演題；高校から見た小中一貫教育</li> </ul>	<p>中2と小3・4年生 13:45～</p> <p>□ 9月29日(火) 小中交流活動 中3と小1・2年生 13:45～</p>
<p><b>水沢中学校区</b></p>  <p>【発表会に向けた地区研修】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 3日(月) 中学校部活体験 小学校6年生が中学校に行き、中学生から具体的に教えてもらいながら、部活動を体験することができました。</li> <li>■ 8月 3日(月) S A Q 講習会</li> <li>■ 8月7日(金) 合同発表会で中学校区の取組発表</li> <li>■ 8月20日(木) 保育園訪問</li> </ul>	<p>□ 9月17日(木) 中学校1日体験入学 授業参観、学校説明、合同陸上練習</p> <p>□ 9月28日(月) 地区教頭・教務主任合同会議—グラウンドデザインの見直し</p>
<p><b>川西中学校区</b></p>  <p>【小中合同陸上練習】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 5日(水) 人間関係づくり研修 講 師；前田孝司教諭、山田弘史教諭 テーマ；学級づくり</li> <li>■ 8月20日(木) 同和教育現地学習会 他地域との合同開催で現状や実態について学習</li> <li>■ 8月24日(月) 川西中・上野小合同陸上練習</li> <li>■ 8月25日(火) 統括コーディネーター連絡会</li> <li>■ 8月25日(火) 小中合同陸上練習</li> </ul>	<p>□ 8月31日(月)～9月4日(金) パワーアップ週間(2) 小中合同生活改善の取組</p> <p>□ 9月 5日(土) 川西中体育祭 小中地域交流種目「玉入れ」の実施</p> <p>□ 9月下旬 3小学校合同陸上現地練習(笹山陸上競技場)</p>
<p><b>中里中学校区</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月31日(金)～8月7日(金) 中里なかよし 保育園参観</li> <li>■ 8月 6日(木) 中里地区教職員研修会</li> <li>■ 8月25日(火) 3小学校合同陸上練習 中里アリーナを会場に、糸魚川の建部猛(マスタースターズ棒高跳びの優勝経験がある)氏を指導者として呼びし、教職員研修も兼ねて実施。</li> <li>■ 8月25日(火) 統括 コーディネーター連絡会</li> </ul>  <p>【職員陸上研修】</p>	<p>□ 9月5日(土) 中里中学校体育祭 小学生参加種目「つなげピンポン！ ダッシュでゴール」</p> <p>□ 9月11日(金) 小中合同陸上練習 3校の5・6年生と中学校陸上部員が合同練習を実施</p> <p>□ 9月17日(木) 1日異校種体験研修(中里中→田沢小)</p> <p>□ 9月18日(金) 1日異校種体験研修(中里中→倉俣小)</p>
<p><b>松代中学校区</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 5日(水) 小中合同陸上練習会(1)</li> <li>■ 8月 7日(金) 松代地区教育振興会委員会</li> <li>■ 8月25日(火) 小中合同陸上練習会(2)</li> <li>■ 8月25日(火) 中学校体育祭に関して、小中交流競技等の内容について、小学校の総務委員と中学校の実行委員会が合同会議を行いました。</li> </ul>	<p>□ 9月 5日(土) 松代中学校体育祭 小中交流種目「松代のきずなをつなぐ障害レース」</p>  <p>【小中合同企画会議】</p>
<p><b>松之山中学校区</b></p>  <p>【松之山分校活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月31日(金) 親子調理教室</li> <li>■ 8月20日(木) 中学校新校舎地鎮祭</li> <li>■ 8月24日(月) 松代・松之山地区合同 人権教育・同和教育研修会 講師；神谷敬二氏</li> <li>■ 8月24日(月) A r t による学び幼保小中高連携教育懇談会 十日町高校松之山分校生徒の活動、及び懇談会</li> </ul>	<p>□ 9月7日(月)～11日(金) 松之山いきいき週間 生活習慣の基礎づくり(就寝・起床、朝食、運動、メディアについて)</p>

■ 中学校体育祭の実施

9月5日(土)	中条中学校、吉田中学校、水沢中学校、下条中学校、川西中学校、中里中学校
9月6日(日)	十日町中学校、南中学校
※松之山中学校は、「オリンB i g」(7/23)及び「湯鳥大運動会」(7/25)を実施。	